

官民連携データプラットフォーム運営に向けた準備会 施設系混雑ワーキンググループ  
(第3回) 議事概要

日時：令和2年12月24日(木) 15時30分から16時30分 (WEB開催)

参加者：47者 (民間企業、自治体等)

【概要】

○施設系混雑WGのファーストステップの活動について、事務局資料をもとに説明

(要旨)

- ・WGの取組のファーストステップとして、データ提供者及びデータ利用者の公募をしたところ、複数者から応募があった。
- ・審査の結果、株式会社 unerry、株式会社 ロコガイド、エヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社、株式会社ゼンリンに決定し、12月1日に連携協定締結式を実施した。現在、サービスローンチに向け協議を進めている段階。

○今後の活動テーマ設定に向けた意見交換

(要旨)

- ・コロナ禍において、3密を避けることがフィーチャーされているが、もともと混雑やオーバーツーリズムなど、どこかが混むのはよくないということが本来あったはず。短期的にすべきことと、中期的にどういうことができるのか、両方考えられるとよい。(参加企業)
- ・データ提供者側の参加インセンティブをどのようにつくっていくかが重要。(参加企業)
- ・施設系混雑と言いながらも、交通系の情報など、横の連携ではじめて1つのソリューションになるのではないか。そういった観点でも、都のリードのもと、民間と一緒に協力しながら体制をつくっていくことが重要。(参加企業)
- ・混雑の定義、そして鮮度、この2つが非常に重要なテーマ。これらが定まらないと、情報を出しにくい。(参加企業)
- ・行政の役割として、実証実験の枠組みを作ることで、通常提供してもらいにくいデータを関係者から提供してもらえることが考えられる。(参加企業)
- ・エンドユーザー視点が非常に重要。都民にとって何が価値で、何を提供することを狙いにするかというゴールがぶれないようにする必要がある。(東京都)

○今後の活動予定について、事務局から報告

- ・具体的な活動テーマに関して、本日の意見交換を整理し、アンケートを送付するのでご意見をいただきたい。

- ・アンケート結果を踏まえ活動テーマを調整の上、1月末に第4回WGを行う予定。

以上